

あれ？数が合わない！どんな聞き方をすればいいのかな？ 視点4

1. 単元名 折れ線グラフと表（4年生 4月）

2. 改善の動機・意図

本時では二つの観点から分類整理する方法を取り扱う。これまで行ってきた指導では、あらかじめ示された観点をもとにデータを整理する展開が多かった。慎重に数えた結果を表にまとめるだけの作業となっており、児童にとっても教師にとっても面白みに欠ける内容であった。そこで授業の冒頭に「あれ？」と思わせるような不完全なアンケートを行う。本当に必要な観点が何なのか明確にした上で二次元表につなげる展開を考えてみた。

3. 授業の構想

冒頭で以下のようなやりとりを行う。（クラス人数28人の場合）

T1 みんながどのようにテレビを観ているのか知りたいのでアンケートをとります。

昨日「ワンピース」を観た人は手を挙げましょう。

C1 （9人挙手）

T2 昨日「ちびまる子ちゃん」を観た人は手を挙げましょう。

C2 （11人挙手）

T3 昨日どちらも観なかった人は手を挙げましょう。

C3 （14人挙手）

T4 合計を確かめます。9+11+14=34 …

C4 あれ？うちのクラスは28人しかいないのに…

C5 それは先生の聞き方がおかしいからだよ。

T5 <どんな聞き方をすればいいのかな>

「ワンピース」「ちびまる子ちゃん」を両方観た児童もいる。重なりがあるのでそのまま人数を足すとクラスの合計より当然人数が多くなる。教師の不完全な質問を修正する中で本当に必要な観点と整理の仕方を考えていくことが本時での主張点である。様々な意見が出るのが想定される。児童の発言をよく聞きながら最終的には以下のような観点に整理していくこととする。

〇〇「ワンピース」「ちびまる子ちゃん」どちらも観た

〇×「ワンピース」は観たが「ちびまる子ちゃん」は観ていない（「ワンピース」だけ観た）

×〇「ワンピース」は観ていないが「ちびまる子ちゃん」は観た（「ちびまる子ちゃん」だけ観た）

××「ワンピース」「ちびまる子ちゃん」どちらも観ていない

これを二次元表（表1）にまとめると以下ようになる。C1での「ワンピース」を観た9人が表のどの部分になるか考えたり、数値を入れたものから項目を予想したりしながら以下のような話し合いを通して表を完成させていく。

T6 表の中で分かるところはどこかな？

C6 ㉠、㉡は「観ていない」だ。

どちらも観ていない人が14人いるからだよ。

C7 表の数をたてや横にみていくと項目がわかるね。

T7 「ワンピース」を観た9人はどこに入るかな？

（以下 話し合いながら表を完成させていく）



【表1】

		ちびまる子ちゃん		合計
		観た	②	
ワン ピース	観た	①	③	⑤
	㉠	④	14	⑥
合計		11	㉠	㉡